

報告書

実施日時	2021年7月22日(木・祝)10:00~11:30		
講座名	よろずアップ企画 VIVA! 113 de Yokohama みんなで祝おうブラジル日本移民 113 周年記念講演&シンポジウム		
登録団体	ブラジル Solidario 横浜	参加人数	会場参加 10 人 リモート参加 20 人

第一部の記念講演は「日本人の知恵 アグロフォレストリーを世界に」がテーマ。講師は長沢氏(株フルッタフルッタ代表取締役)で、日系ブラジル人が取り組んだ、2万ヘクタールもの荒廃地を再生した「森を作る農業」について環境保護にもつながるという、興味深い話を伺いました。

第二部のシンポジウムでは鈴木氏(ブラジルで保育園経営者)と伊藤氏(日本海外移民慰霊施設

長)が会場から、ブラジルからのリモートで細川氏(サンパウロ人文科学研究所常任理事)が参加し、日系移民が生産、普及に尽力した麻袋栽培による経済効果や、苦労の数々、現状の様子などが話し合われました。

途中、地域振興課担当職員から、中区多文化共生アクションプランの説明もありました。



↑講師の長沢氏(右)とブラジルソリダリオ横浜の斉藤理事長



↑講演会の様子



↑パネリストの伊藤氏(左)と鈴木氏。細川氏はブラジルからリモート参加



↑シンポジウムの様子



↑終了後、日本大通りをサンバでパレード

アンケートから感想(抜粋)

- ・アグロフォレストリーという言葉が恥ずかしながら、初めて耳にしました。すぐに、明治神宮の人工の森の話をお聞きしました。日本人にもとてもなじみのあるお話だと思いますし、もっと多くの人に伝えていくことで、必ず大きな力になると感じました。
- ・貴重なお話をいただきありがとうございました。
- ・アサイーの工場を見学したことがあるので、なつかしかった。
- ・もっともっと多文化共生推進する必要があります。アマゾンに移民した人にもっと学ぶべきです。
- ・これからも、いろいろなイベントや企画を。友好・共生・多様化を。113年おめでとう。